

会 議 録

会 議 名	令和6年度 四者合同会議（第37期第13回公民館運営審議会）
事 務 局	公民館
開 催 日 時	令和7年2月14日（金）午前10時00分から午前11時30分
開 催 場 所	小金井市公民館貫井北分館 学習室A B
出 席 委 員	<p>【社会教育委員】            笹井委員長、金澤副委員長、伊藤委員、榎本委員、國分委員、森本委員、小林委員、坂野委員</p> <p>【スポーツ推進審議会】            田中会長、本橋副会長、太田委員、多田委員、三輪委員</p> <p>【図書館協議会】            大串委員、藤森委員、白井委員</p> <p>【公民館運営審議会】            本川委員長、倉持副委員長、橋本委員、福井委員、稲垣委員            吉田委員、川原委員</p>
欠 席 委 員	<p>【社会教育委員】            新井委員、北澤委員</p> <p>【スポーツ推進審議会】            山田委員、服部委員、永井委員、檀原委員、渡邊委員</p> <p>【図書館協議会】            岡田委員、清水委員、関本委員、北澤委員、小林委員、林委員            伊東委員</p> <p>【公民館運営審議会】            浅野委員、大坪委員、石原委員</p>
事 務 局 員	渡邊公民館長、諏訪庶務係長、落合事業係長
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会：本川公民館運営審議会委員長</li> <li>2 生涯学習部長挨拶</li> <li>3 座談会「小金井で社会教育を盛り上げるには？」            進行：倉持公民館運営審議会副委員長            グループによる意見交換</li> <li>4 グループ発表</li> <li>5 閉会</li> </ol> <p>配布資料            令和6年度四者合同会議次第            令和6年度四者合同会議出席者名簿</p>

## 会 議 結 果

### 次第1 開会

#### 【(公) 本川委員長】

これより、令和6年度四者合同会議を開催する。

現在、公民館運営審議会では公民館の有料化について、協議を進めている。

本日は小金井市の生涯学習、社会教育に関係する皆さんが集まる貴重な機会なので、各審議会が進めている審議内容などについても共有し、意見交換ができればと思う。

本日の司会進行は、公民館運営審議会の副委員長で、学芸大学の准教授でもある倉持先生にお願いしている。専門は社会教育学、成人教育学、生涯学習論など、地域での学びの支援、コミュニティづくりの研究と実践に取り組んでおられる。また、他市の審議会委員や公益財団法人の理事なども務めている。

本日は、活発な意見交換と交流を深めていただきたい。

### 次第2 生涯学習部長挨拶

#### 【梅原生涯学習部長】

各委員におかれては、日頃より本市の生涯学習にご尽力いただき、感謝申し上げます。

本日の会議は、小金井市の生涯学習、社会教育の関係者が集まり、共通の認識を持っていただく貴重な機会と認識している。平成16年度から三者合同会議として開催してきたが、今年度からスポーツ推進審議会も加わり、四者合同会議として開催するものである。他の委員の皆さんとの意見交換をしながら新たな視点を持って、親睦を深めていただければと思う。

### 次第3 座談会「小金井で社会教育を盛り上げるためには？」

#### 【(公) 倉持副委員長】

本日は基調講演ではなく、それぞれの立場から意見交換していただきたいと考えている。小金井の生涯学習、社会教育に関する4つの会議体があるが、それぞれの会議体が、現在、どのような課題に取り組んでいるのか、実はわからない部分があって、情報を共有し話し合うことで、小金井の社会教育を盛り上げるためのヒントがあると思っています。お互いを知り、情報交換をした結果を各会議体に還元していただければと思う。

社会教育・生涯学習には普遍的な価値があって、市民の自主的な学び、自己実現、生きがいがづくり、仲間づくりなどが行われてきた。ここ最近では、国の政策変更などもあり、より地域と社会教育・生涯学習のつながりが意識されてきている。教育は地域特性があり、例えば、コミュニティスクールも地域による特性があり、小金井市でも長年の公民館活動もあるが、地域支援など新たな活動も生まれている。

コロナを経て、暮らし、生活、働き方などの意識も変わってきており、また、少子高齢化などの社会情勢の変化により担い手不足といった課題も出てきていると感じている。皆さんがそれぞれ、生活したり、活動している中での気づきや課題、アプローチの仕方など、小金井の社会教育を盛り上げるための意見交換をお願いしたい。

(グループによる意見交換)

### 次第4 グループ発表

#### 【1班発表 (公) 稲垣委員】

非常に有意義な意見交換ができ、来年度以降も継続をお願いする。

意見交換の内容として、小金井市のまちづくり条例は、他市と比較しても非常に素晴らしいという発言があった。

最近はお手本になるような魅力的な大人があまり見当たらない。こどもたちの手本となる立派な青年、成人の成長を目指すということも社会教育の一つの役割ではないか。また、障害のある方のスポーツ活動を盛り上げるためには、バリアを取り除くことが必要ではないか、といった意見が出された。

#### 【2班発表 (社) 小林委員】

東久留米市では、学び合いイベントというものがあり、地域で教えたい人を登録する制度がある。小金井市でも公民館の市民がつくる自主講座があるが、学び合いイベントの方が、実施のハードルが低い。小金井市は多くのイベントや講座があり、学ぶ機会は多いが、学びっぱなしになってしまっているように感じる。大切なのは、学びはきっかけであり、学びを機会に気づき、知り合い、つながり、受け入れてもらうことが大切。ぜひ、公民館などの職員がコーディネーターとなり、人と人がつながるための支援をしていただきたい。

現在、小金井市でも色々な課が居場所づくりの施策を行っているが、体系的につながっていない。ぜひ、社会教育的な視点をもって、人や施策をつなぐことができる、人材の育成に取り組んでいただきたい。

#### 【3班発表 (公) 福井委員】

各審議会の進捗状況として、公民館は目的をもって訪れる場所だが、仲間づくりのためのフリースペースも必要という意見。図書館は本を読むだけでなく、カフェのようなくつろげるスペースが必要。スポーツ推進審議会では現在、計画策定に取り組んでおり、中学校の教員不足などが課題となっているとのこと。社会教育委員の会議も令和8年度からの第五次生涯学習推進計画の策定に取り組んでいる。

小金井の社会教育を盛り上げるためのアイデアとして、既に貫井北センターでは積極的に行っている公民館と図書館のコラボ企画や、若者の本離れが進んでいるので推薦図書の利用といった意見、スポーツ分野では若者によるイベントの企画運営、中学生を対象して楽しさを共有するような仕組みが必要ではないか、という意見があった。

課題に関しては、様々な地域課題がある中で、例えば、防災教育では市民の協力、地域リーダーの育成が必要であったり、各種イベントのPR方法であったりを工夫する必要があるという意見があった。

#### 【4班発表 (公) 川原委員】

全体として、横のつながり、交流が大切ということで、例えば、児童館と公民館、大学と小中学校などの連携が進めばよい。部活も地域との連携が求められている。社会教育を盛り上げるためにも、人材の質を高め、交流を深められるような環境が重要である。

おせっかいな世代に活躍してもらい、大学生などの若者が地域と繋がるような場所づくりや、PRに取り組む必要がある。

次第5 閉会

【（公）倉持副委員長】

今回から四者合同会議になったということもあり、様々なトピックや、問題意識の共有、交流の促進ができたのではないかと。

グループ発表の中にあったとおり「つながり」や「人材」がキーワードとなっており、施設よりも人材への投資が重要という意見などもあり、改めて、社会教育には「つながり」や「人材育成」が必要ということが認識できた。

来年度はスポーツ推進審議会が担当になると思う。次回開催を楽しみにしている。

— 了 —